

高富都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(概要版)

都市計画の目標

【都市づくりの基本理念】

安心で快適な住みよいまちづくり

【都市づくりの目標】

- (1) 総合力・求心力の高い多機能拠点都市の創造
- (2) 足腰が強く活力のある産業・交流都市の創造
- (3) 自然と共存共栄した快適居住都市の創造

区域区分の有無

本区域においては、市街地の拡大の可能性は低く、区域区分によらなくとも良好な環境を有するコンパクトな市街地を形成することが可能なことから、区域区分を定めません。

主要な都市計画の決定の方針

土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針

| | | |
|-----|-----------------|--|
| 住居系 | 中心市街地 住居地区 | ・(都)和合松井戸尻線から徒歩圏内に位置する、(都)南八京線を東端、鳥羽川を西端とする地域を中心市街地住宅地区として位置付けます。一戸建の住宅や共同住宅の集積を進めると同時に、空き地・空き家の利活用等により、高密度かつ良質な住宅環境を目指します。 |
| | 周辺住居 地区 | ・中心市街地住居地区周辺の本区域南部の既成市街地を周辺住居地区として位置付けます。なお、地区の一部では、既存の農地、職住近接型の工業施設、日常買い回り品等の商業施設等との混在を許容しつつ、住宅地への転用を基本として土地利用の誘導を行います。 |
| | 山裾住居 地区 | ・周辺住居地区に隣接している山裾の住宅地を山裾住居地区として位置付けます。土砂災害の危険を回避しつつ、良好な低層の住宅地として維持します。 |
| 商業系 | 行政・情 報地区 | ・公共公益施設が集まる山県市役所周辺を行政・情報地区として位置付け、都市の拠点とします。インターチェンジ整備に併せて、市街化の進展が予想されることから、計画的に住居系と商業系の複合的な都市機能の集積と行政・情報地区としての機能拡充に努めます。 |
| | 沿道型 商業地区 | ・(都)岐阜駅高富線、(都)南八京線の(都)岐阜駅高富線より東側の沿道については、にぎわいのある沿道商業空間の創出する自動車利用を前提とした商業・業務系土地利用の誘導を図ります。 |
| | 生活型 商業地区 | ・(都)和合松井戸尻線沿線は商業施設、金融機関等の商業・サービス機能及び医療施設が立地し、複数のバス路線が集中する地域であり、今後も更なる施設・機能の集積を進めます。 ・(都)和合松井戸尻線西側に位置する既存の商店街では、木造住宅が多く、また空き家も存在するため、現状規模の商業機能を維持しつつ、建替えによる良好な住宅の整備を目指します。 |
| | バスターミナル 周辺地区 | ・バスターミナルは、市内外からのバス路線の乗り換え拠点、地域間の交流拠点として、生活型商業地区と連携し、周辺に観光・交流施設を設け、にぎわいの創出を目指します。 |
| 工業系 | 工業地区 | ・市街地東部に位置し、岐阜市との境界近くにある工業地区は、未利用地が多く周辺道路も狭いことから、道路等の整備を進め、工業系土地利用の促進に努めます。 |
| | 住工共存 地区 | ・市街地南部の鳥羽川と新川に囲まれた地域と、市街地中央部の石田川沿いの地域については、住宅地と工業地が共存する住工共存地区として位置付けます。 ・将来的にも住居系の土地利用の増加が見込まれるため、住居系用途への見直しも含めて検討します。 |

都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針

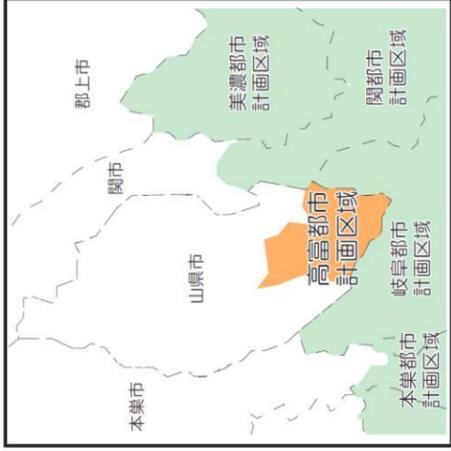
| | |
|------|---|
| 交通体系 | ・道路の果たすべき交通機能によって役割を明確に区分し、段階的な道路構成(自動車専用道路、主要幹線道路、幹線道路、区画道路、その他の道路)にすることにより体系的なネットワークを形成します。 ・地域住民の日常生活活動に係わる活発な交流を確保するとともに、都市の骨格形成、街区の形成及び安全でゆとりある都市空間の形成等を図ります。 ・道路機能に応じて歩車道の分離、自転車専用レーンの設置、付帯施設等の整備に努め、人にやさしい道路づくりを推進します。 ・高速交通体系としての(都)東海環状自動車道や広域幹線道路となる国道・県道の整備を推進します。 ・ゾーン 30 の指定や歩車共存道路の整備等により、安全な交通環境を保全し、コミュニティ空間としての醸成を図ります。 ・道路及び橋梁等については、定期的な点検・診断を行い、計画的な維持管理・修繕・更新を行うことにより、長寿命化を図ります。 ・市内外からのバス路線の乗り換え拠点としてバスターミナル、パークアンド・バスライド駐車場等を整備し、各交通機関相互の連携を検討します。 |
| 下水道 | ・下水汚泥等を豊富な資源エネルギー源として再利用し、環境負荷の軽減や、循環型社会の再構築に向けて有効活用を図ります。また、定期的な点検・診断を行い、計画的な維持管理・修繕・更新を行うことにより、長寿命化を図ります。 |
| 河川 | ・さらなる治水機能の向上にあたり、河川の改修のみならず、流域の持つ保水・遊水機能の適切な保全を併せて推進します。また、開発行為等による河川への雨水量の増加に対しては、調整池等の設置により対処します。 ・河川等が有している貴重な水辺の空間機能を活かし、緑地空間の整備、生態系の保全等人々の憩いの場の創出を図ります。また、河川改修にあたっては、水生生物と共生できる生息環境に配慮した工法を選択します。 |

市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針

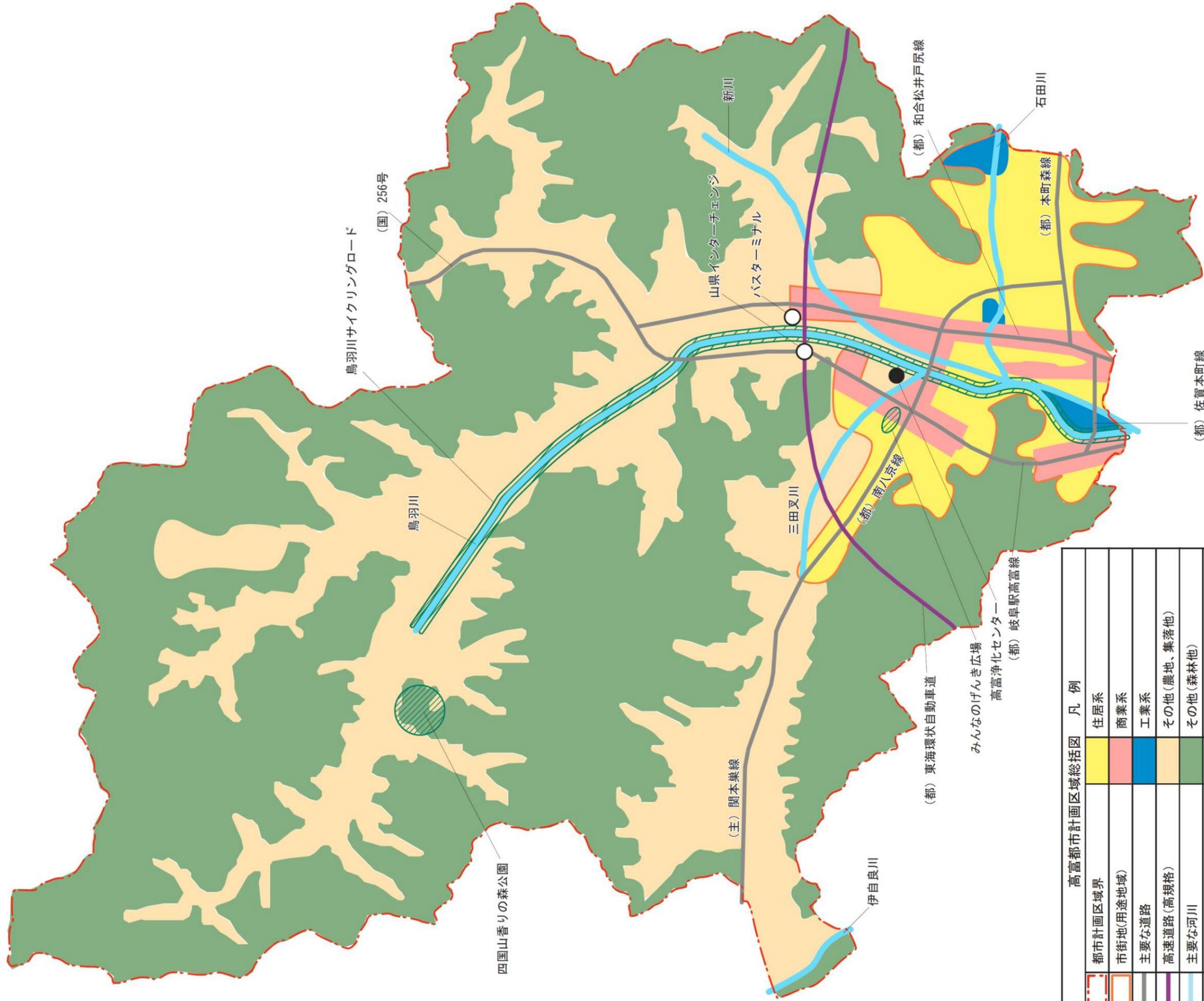
- ・(都)和合松井戸尻線周辺の既成市街地の再整備により、集約型都市構造の実現を目指し、官民が協働した多様かつ柔軟な市街地開発事業等により良好な市街地の形成に努めます。

自然的環境の整備又は保全に関する都市計画の決定の方針

- ・地形的な特性を活かしながら、市街地、市街地外においてそれぞれ近接する河川、農地、山林等の自然環境の保全との調整を図り、長期的な土地利用に対応した多様な形態の公園・緑地の確保を検討します。
- ・人口密集地である高富地内においては緑地が少ないため、空き地・空き家で生み出された土地の活用を検討します。
- ・利用者の多様なニーズと自然環境、歴史、地域性等に配慮した公園の機能を検討します。
- ・河川等により市内の主要な公園や緑地をネットワークすることにより、各拠点機能の向上を図ります。



高富都市計画区域 総括図



| | | | |
|--|------------|--|-------------|
| | 都市計画区域界 | | 住居系 |
| | 市街地(用途地域) | | 商業系 |
| | 主要な道路 | | 工業系 |
| | 高速道路(高規格) | | その他(農地、集落他) |
| | 主要な河川 | | その他(森林他) |
| | 主要な公園・緑地等 | | |
| | その他主要な都市施設 | | |